



陽風園だより

No. 109

令和5年
4月発行
夏秋冬

春



■ もくじ

- P2 陽風園経営基本計画2023策定
令和5年度 陽風園重点事業
- P4 各施設重点事業
- P7 理事長就任のご挨拶
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに

創立百四十周年記念植樹

陽風園経営基本計画2023策定

今般、陽風園創立150周年を機に、新たに経営基本計画2023を策定しました。

2013年度に初めて経営基本計画を策定して以降、社会情勢等の変化を踏まえ、定期的な改訂を行っており、今回の策定で3回目となります。

今回の策定では、できうる限り多くの職員の参画を得ながら、現状の課題を整理するとともに、予見性を最大限に発揮し、「次の一手」を考えました。

大きな目標として、「安全で質の高い施設運営や安定的な経営の確保」と「創立150周年記念事業としての本園第二期改築整備事業の着実な実施」をめざしています。

本計画は、今後5か年における「計画の概要」「現状と課題」

「経営方針」「事業計画」「財政計画」の全5章で構成されております。

特に「事業計画」では、計画期間中の各事業ごとの経営指標として具体的な数値目標を設定し、安定的な事業運営を堅持するとともに、重点目標を実現するために50の重点事業を掲げ、着実な遂行に職員一丸となって取り組んでまいります。

これからも、陽風園は、時代や地域の求めるニーズに応え、安定的な福祉サービスを提供するために、本計画の達成に努めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をお願いします。



「陽風園経営基本計画2023」は法人ホームページから閲覧可能です。
▶ <https://www.yofuen.com>



topics

令和5年度 陽風園重点事業

新たに策定した陽風園経営基本計画2023に基づき、「**将来を見据えた安全で質の高い施設運営**」の実現に向けて、**1経営基盤の強化と施設の充実** **2新型コロナウイルス対応など危機管理体制の強化** **3地域に根ざした質の高い福祉サービスの提供** **4DX及びSDGsの取組の強化** **5に愛の心と高い志を持つ人材の育成**を陽風園の重点目標にするとともに、コロナ禍や国際情勢の悪化等に伴い低迷する利用率・収益率の向上や施設を取り巻く環境の変化にいち早く対応するため、

- ・ **新型コロナウイルスへの適切な対応など安全安心の確保**
- ・ **本園第二期改築整備事業の推進**
- ・ **創立150周年記念式典等の開催**

に取り組むこととし、令和5年度の重点事業を次のとおりとします。

1 経営基盤の強化と施設の充実

①陽風園創立150周年記念事業の実施

次の50年、100年に向けて陽風園の更なる発展を期すため、記念事業を実施する。

②本園第二期改築整備事業の推進

陽風園創立150周年を機に、あけぼの作業所と三陽ホームの改築を柱とする本園第二期改築整備事業を実施することとし、令和5年度は、あけぼの作業所の改築工事に着手する。

③法人の経営基盤の強化

経営基本計画の進捗状況等の検証や経営分析などを行うため、管理者会議及び運営会議のメンバーで構成する経営会議を設置する。

④特別養護老人ホームの利用率の向上

入所体制の標準化や、各施設ごとの特色の明確化、法人全体の入所申込みの一元化などを図り、利用率の向上をめざす。

⑤特別養護老人ホームにおける医療ニーズの高い利用者の積極的な受入れ

胃ろう、インシュリン、バルーンカテーテル、透析、在宅酸素などが必要な方の受入れを更に推進する。

⑥特別養護老人ホームへの法人内転居の推進

向陽苑崎浦や向陽苑木曳野、三陽ホーム、ハビリポート

若葉・若竹の常時介護が必要な利用者について、特別養護老人ホームへの転居を可能な範囲で推進する。

⑦サービス付き高齢者向け住宅における介護体制の強化

入居者に手厚い介護サービス等が提供できるよう、訪問介護員を派遣する。

⑧訪問介護サービスにおける業務体制の見直し

訪問介護員の配置人数や雇用条件、土日の営業体制などを見直し、訪問介護事業の充実を図る。

⑨日常生活圏域の見直しに伴う地域包括支援センターの在宅支援体制の整備

地域包括支援センターの担当地区の見直しを踏まえ、地域住民への支援を充実するための体制を整備する。

⑩ハビリポート若葉における精神疾患への対応の充実

ハビリポート若葉のフロア内に4箇所の精神障害者重点型ユニットを設けるとともに、精神保健福祉士を配置するなど体制を強化する。

⑪ハビリポート若葉の夜間における支援体制の強化

利用者の高齢化・重度化や精神障害者の増加に対応するため、夜間帯の配置職員を増員し、支援体制を強化する。

⑫特定相談支援事業の拡充

ハビリポート若葉、あけぼの作業所、グループホーム等の利用率の向上をめざし、相談支援専門員を増員するなど、特定相談支援事業を強化する。

新 ⑬新型コロナウイルス感染症の健康観察期間の適正化
入所時などの健康観察期間を、国基準どおり3日間とし、新規利用者の受入れを促進する。

新 ⑭特別養護老人ホームにおける柔軟な受入れ体制の構築

万陽苑の待機者を第二万陽苑や第三万陽苑に一時的に入所してもらうなど、特養3施設で連携しながら柔軟な受入れ体制を構築する。

拡 ⑮家族の面会等の適切な実施

新型コロナウイルス感染症の状況を見極めた上で、家族の対面での面会等を再開する。

拡 ⑯誰一人とり残さない施設入所の実現

特別な事情のある場合を除き、これまで以上に、すべての入所待機者の受入れを促進する。

新 ⑰積極的な情報提供とPR活動の強化

病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等へのPR活動を強化するとともに、ホームページやSNS、マスコミ媒体を活用し情報を発信する。

新型コロナウイルス対応など 危機管理体制の強化

2

新 ①業務継続計画(BCP)の策定

非常災害の発生や感染症の拡大などの緊急時における業務継続計画(BCP)を策定する。

新 ②健康観察スペースの確保

新型コロナウイルス感染症等に対応するため、ハビリポート若葉・若竹に、入所時の健康状態を観察するための適切なスペースを確保する。

拡 ③災害対策等の強化

利用者の安全・安心を確保するため、災害図上訓練、福祉避難所運営訓練等を実施する。

地域に根ざした 質の高い福祉サービスの提供

3

拡 ①利用者のリスクゼロに向けた取組の強化

誤嚥・誤薬・転倒リスクを回避するため、無線式センサーマットや高機能ベッド等を導入する。

新 ②日常生活機能の維持

利用者の日常生活動作(ADL)の低下を防ぐため、理学療法士(PT)や作業療法士(OT)による生活リハビリ等の充実を図る。

拡 ③調理業務の統一化

ソフト食や軟菜食等の調理手順を可能な限り統一する。

拡 ④HACCPに基づく衛生管理体制の充実強化

衛生管理計画に基づく調理手順等のさらなる明確化を図るとともに、食品衛生に対する職員の意識を高めるための研修を実施する。

新 ⑤みずきこども園での放課後教室の開設

子どもや保護者の方々から選ばれる魅力あるこども園をめざし、リトミックや体育・英語等の放課後教室の開設に向けて、実施内容の選定や希望調査等を行う。

新 ⑥みずきこども園における食育の推進

食育を推進するため、子どもたちが栽培、収穫、調理を体験できるプログラムを実施する。

拡 ⑦三陽ホームにおける地域移行の推進

居宅生活訓練事業による就労等を通じて、経済的な自立を促すなど、社会復帰に向けた支援体制を強化する。

新 ⑧地域との交流及び連携

研修室等の開放やイベントの開催等を通じて地域との交流・連携を促進する。

4 DX及びSDGsの取組の強化

拡 ①質の高い福祉サービスや業務の効率化に向けたDXの推進

書類管理業務、記録業務、事務決裁業務等にかかるソフトウェアの開発やペーパーレス化を推進する。

新 ②科学的介護情報システム(LIFE)の導入

国が推奨するLIFEを導入することにより、効率的で質の高い介護サービスを提供する。

新 ③ICTを活用した動画配信等による利用者家族への情報提供

ICTを活用し、家族に適時適切な情報を提供する。

新 ④処方箋入力の電子化等による診療所機能の強化

処方箋の入力システムを導入するとともに、利用者の医療情報を法人全体で共有できる仕組みを構築する。

拡 ⑤介護機器及びロボットの活用促進

コミュニケーションロボットや見守りシステム、眠りスキャンなどの導入を促進する。

新 ⑥通所事業所における記録システムの導入

業務の効率化をめざし、通所施設の記録システムの電子化を推進する。

拡 ⑦あけぼの作業所におけるWi-Fi環境の整備

業務の効率化や利便性の向上を図るため、全施設における整備の一環として、あけぼの作業所のWi-Fi環境を整備する。

新 ⑧エネルギー体制の見直し

GHPからEHPへの計画的な転換を進めるなど、エネルギー体制の見直しを図る。

新 ⑨光熱費削減のための適切な使用及び節電の推進

使用量の削減をめざし、デマンド機器等を導入することにより電気使用量の「見える化」を図る。

拡 ⑩社会貢献活動の推進

地球環境の保全に向けて、食品ロスへの対応など、社会貢献活動を積極的に推進する。

5 仁愛の心と高い志を持つ人材の育成

拡 ①職員研修等の充実

精神障害のある利用者の増加や8050問題を抱える家族の支援等に対応するため、障害特性について学ぶための研修や虐待防止研修を充実する。

新 ②事業運営に必要な資格取得の支援

職員の専門性の向上を図り、質の高い福祉・介護サービスを提供するため、事業運営に必要な職員の資格取得を支援する。

【アイコンについて】

新 今年度から新たに実施

拡 グレードアップして実施

新 前年度から継続して実施

養護老人ホーム 向陽苑 崎浦

「開設10周年記念事業」と 「がんばろう崎浦健康いきいきプロジェクト」

崎 浦との名がついて10周年にあたるため、盛大にお祝いするとともに、「健康長寿」をテーマとした「がんばろう崎浦健康いきいきプロジェクト」を継続し、認知症予防や体力向上を目的とした活動（音楽療法・健康体操・脳トレーニング等）を充実させていきます。また、コロナ禍で減少した外出機会を確保するとともに、利用者様が気軽に集い、趣味や憩い、調理の場として過ごせるような生活環境を提供し、心身とも健康で、いきいきとした生活が送れるよう努めてまいります。



養護老人ホーム 向陽苑 木曳野

「安全・快適・自立のもと健康長寿に暮らそう」

昨 年に引き続き、新しい生活様式の中での感染症予防を継続しつつ、利用者様一人ひとりが安心した生活を、快適に健康的に過ごせるよう取り組んでいきます。健康長寿に向け、肺活や腸活の大切さを伝えるなどの必要な支援とともに、日常生活動作（ADL）の低下を防ぐよう理学療法士や作業療法士による生活リハビリ等の充実を図り、身体活動を支援していきます。

養護老人ホームでの生活が困難になった場合でも、自立した生活を送るため個々の状態に見合った適切な環境のもとで暮らせるよう住み替え等を提案していきます。また、開設後10年が経過したことにより老朽化した設備・器具等の入れ替えを計画的に実施し、安全で快適な生活の確保に努めていきます。



特別養護老人ホーム 万陽苑

万 陽苑では、個人のプライバシーに配慮した全室個室による生活空間のなかで利用者様に過ごしていただいています。この長所を活かしながら、さらに質の高いサービスの提供や職員の負担軽減のため、介護ロボットや見守りシステムの導入をめざしています。今年度は、陽風園経営基本計画2023に基づき、万陽苑としてどのようなシステムを導入すべきか検討していきます。

利用者様にとって、より安全で安心した施設となるよう、また、職員にとっても働きやすく、魅力的な職場となるよう取り組んでいきます。



特別養護老人ホーム 第二万陽苑

機 能訓練のさらなる充実をめざし、機能訓練指導員による姿勢ケア研修、動作介助研修を行い、介護員の技術の向上を図ります。

また、姿勢保持用具を用いて、姿勢の確認や、最適な福祉用具の提案を行います。個々の状態に合わせ、利用者様が快適に過ごしていただけるようお手伝いをさせていただきます。

さらに新しい座位保持用具の充実を図り、リハビリ環境の整備に努めます。



特別養護老人ホーム 第三万陽苑

平 成5年に陽風園3番目の特養として開設され今年で30周年を迎えます。開設記念日には節目にふさわしいイベントを企画し、皆様と一緒に祝いしたいと思っています。また、冷温水発生器の取り替えをはじめ、施設設備の補修・維持に努めるほか、食堂の照明をLEDに変更するなど、快適な生活を確保できるよう取り組んでいます。

さらに、ICT/IoTの技術を活用し、認知症利用者の方々に特化した安全・安心で安楽な生活と、利用者様・職員双方の生活空間の確保による持続可能な施設づくりをめざします。

利用者への迅速な対応や事故防止に努め、安心で過ごしやすい生活環境を提供するためにICT・IoT通信機器を導入しています。



ナースコール通報

ナースコールが押されると、介護ステーションのパネルと介護スタッフが持っているスマートフォンに通知され、どなたからが何時に分かり迅速な対応ができます。



廊下用見守りカメラ

廊下に死角がないよう、カメラを設置。9日間の録画管理し、転倒等の事故等の様子を記録します。



居室用見守りカメラ

プライバシーに配慮し、居室を選択して夜間の巡回や見守りため、映像で確認できます。
※巡回に際し本人または家族同意を得ており、撮影された方はカメラのレンズを閉じています。



陽風園地域福祉プラザ

金 沢市社会福祉協議会が主催する「介護ベストショット・フォトコンテスト」に応募させていただいたところ、93作品の中からなんと!! 木越デイサービスセンターが「最優秀賞」を受賞しました。募集のテーマは、「介護の魅力や、やりがいがある写真」です。

あるお天気の日、デイサービス近くの公園でお散歩中、利用者様がブランコに乗りたいたいとおっしゃられ、「私大丈夫で、そこあんた隣乗ったらいいわ」との強い勧めもあり、ためらいながら職員も一緒にブランコに乗りました。職員の心配をよそに「50年ぶりやで〜」と喜ばれている利用者様と職員の笑顔がとても素敵でほっこり心温まる一枚です。

今年初のビッグニュースにセンターは大盛り上がり♪副賞の商品券で皆様と盛大にお祝いパーティを行いました。また、パーティーに参加できなかった方にはささやかですが焼き菓子の贈り物をさせていただきました。

これからも、利用者様の気持ちに寄り添い一緒に笑い合える楽しいひと時を共有していきたいと思います。



**祝
最優秀賞受賞**

救護施設 三陽ホーム

三 陽ホームでは、地域生活を希望する利用者様や、地域生活を送る可能性のある利用者様に対して、平成26年度から居宅訓練事業を活用し『地域生活移行』に向けての支援を行っています。これは、救護施設に入所している利用者様が円滑に居宅生活に移行できるようにするため、施設において居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行う地域生活移行支援事業です。

まず、地域生活移行に必要な能力判定基準を作成し、訓練参加利用者を人選して本人の意思確認、身元引受人の承認、措置機関の承認を得、施設内の生活に問題がなければ、地域生活移行に向けての準備を進めます。

訓練内容として、健康管理訓練、日常生活訓練、社会生活技能や社会参加に関する訓練、就労・施設内作業に関する訓練、緊急時対応訓練等があります。訓練期間は基本1年間

で、延長により退所が見込まれる場合は、さらに1年の訓練延長が認められます。現在までに6名の方が地域生活へ移行しました。

近年はコロナ禍で感染症予防のため十分な居宅訓練を進めることができませんでしたが、利用者様が目標や意欲に沿ってそれぞれの自立をめざし、地域生活を身近なものに感じ、より具体的にイメージできるよう地域移行の推進に取り組んでいます。



障害者支援施設 **ハビリポート若葉・若竹**

「より安全・安心に、心穏やかに」

高 い対応力が必要とされている新型コロナウイルスなどの感染症を「施設内部に持ち込まない・広げない」ための取り組みとして、令和5年度は既存の静養室の改修を予定しております。

利用者の皆様の入所時や退院時などの健康観察の場をユニット外に設けることで、感染防止対策を万全に行えるスペースを確保いたします。さらに、ストレスを感じた際に周囲の音や視線から逃れ気持ちを落ち着かせたり、パニックを未然に防ぐなど、環境に配慮したカームダウン・クールダウンの場所としても活用し、より穏やかに自立に向けた日常生活や社会生活を営むことができる環境を提供いたします。



就労継続支援B型 **あけぼの作業所**

「販売促進のために」

あ けぼの作業所では、コロナ禍が始まって以降の3年間は各種イベントが中止、あるいは縮小されたこともあり、外部で直接販売することを見合わせておりましたが、今年度は、以前のように各種のイベント等に参加し、販売することを検討・計画しております。

外部販売を通してお客様の声を直接取り入れる機会とし、よりよい商品づくりに励みつつ収益を上げ、利用者の皆様の工賃向上に取り組みたいと思います。

また、施設での直接販売、金沢市内の福祉ショップや郵便局での委託販売、ネットショップによる販売を継続して行っていくしますので、外部販売と併せてよろしくお願いいたします。



認定こども園 **みずきこども園**

「放課後教室の開設」と「食育の推進」

お 仕事と子育てを両立している保護者から、子どもに習い事をさせてあげたいが時間が取れず、諦めてしまうという声が聞かれます。そのため、夕方の保護者のお迎えを待つまでの間に、専門的知識を持つ講師のもと教室を展開できないか、その内容について検討しています。

また、食育の推進では夏野菜を栽培し生長を観察したり、加賀野菜で有名な五郎島金時を収穫したりすることを楽しんでいます。土との触れ合いを通して採れた野菜を使って、年齢や季節に応じたクッキングを行い、食べる意欲もどんどん高めていこうと思います。

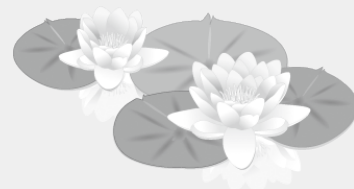
併せて、年長児は毎朝、給食のお手伝いとしてその日の食材の下準備を給食スタッフと一緒にしており、それも食育につながっています。

そのほか、園での給食で気になる事のひとつに、食物アレルギーへの配慮が挙げられます。除去食や代替食などにより、食物アレルギー対策にもできる限り万全を尽くしています。



丸口邦雄前理事長が令和五年三月二十六日 六十九歳で急逝されました。
ここに謹んで哀悼の意を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

丸口邦雄前理事長が逝去されたことに伴い、令和5年3月27日(月)に、理事全員の同意により松倉剛弘氏が理事長に選定され、新理事長に就任しております。



greeting

理事長就任のご挨拶



平穏な日常生活を

理事長 松 倉 剛 弘

前理事長の逝去に伴い、図らずも理事長に就任することとなりましたが、もともと浅学非才な私が、陽風園の理事長職の器にあらうはずはなく、ただただ恐縮するばかりであります。しかし、一旦この職を務めることとなった以上は、園のご利用者及びご家族様、職員並びに地域社会の福祉の増進のため、全身全霊を傾けてその職責を全うしなければならないと考えています。もちろん理事長一人では何もできませんが、幸い園には仁愛の精神と歴史と伝統に裏打ちされた福祉マインドとスキルを持つ素晴らしい職員が大勢います。その力添えをいただきながら、一緒に園の発展のため尽くしてまいりたいと存じます。

ご承知のように、ここ3年間は、新型コロナの影響下にあり、園の行事やイベント等はほぼ自粛を余儀なくされ、また感染者の発生・増加に伴い、入居者の行動や家族との面会もやむを得ず制限することとなりました。そのため、利用者の皆さんには、不自由な思いをさせ、心理的ストレスが蓄積するばかりでなく、身体的にも衰えをもたらす結果となったことは、大変申し訳なく残念に思う次第です。

コロナはまだ終わったわけではありません。しかし、これからは感染対策を継続しながらも、以前のような平穏な日常生活を取り戻すことが必要で、まずはこのことに取り組んでいきたいと思っています。園を利用する皆さんが、安全で安心して日常生活を送れるよう、その中で少しでも幸せを実感できるよう精一杯努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



volunteer message board ボランティア 掲示板

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染予防対策につつまして、陽風園の対応や各施設の対応状況は、別途ホームページ (<https://www.yofuen.com/>) で公表させていただいておりますので、そちらをご確認ください。

感謝 録

1月～3月

◆ ボランティア

- 金城短大 桑原きらり
- 金沢学院大学 花岡 有希
- 金城大学 若竹 香織
- ほたるの会 代表 藤原 光恵
- ひがしMサロン 林田 孝一

◆ 寄付物品の部

- 坂尻 一男 ● 松田 忠秋 ● 堀田由里子
- 加澤かおり ● その他匿名1名
- 石川県製麺工業組合

◆ 寄付金の部

- 吉村 正夫 ● 松本知栄子 ● 田村きよみ
- その他匿名11名
- 金沢市崎浦地区町会連合会

ご厚意ありがとうございました。

◎ 施設開放〈本園研修室等〉

三口新町東町会
三口新町南町会

◎ 実習・体験

金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻

(地域看護活動基礎実習)	(プラザ86名)
金城大学 (介護実習Ⅱ)	(三陽1名)
金城大学 (ソーシャルワーク実習Ⅱ)	(三陽1名)
金城大学 (ソーシャルワーク実習)	(ハビリ2名)
金城大学 (保育実習Ⅱ)	(みずき1名)

◎ 社会貢献活動

内川スクールサポート隊 (第三・ハビリ)